



祝150周年 東彼杵町立彼杵小学校 学校だより

校訓：「強く 正しく 朗らかに」

学校教育目標：「ふるさとに愛着を持ち、心豊かにたくましく生きる彼杵っ子」

今年の合い言葉 「もっと！よく学び よく遊べ」

令和5年6月30日

NO. 15

校長 白水 聡

JICA の活動

6月27日、5年生の総合的な学習の時間に、JICA 国際協力推進員の小田智子さんにゲストティーチャーとして来校いただきました。ご自身の体験を、写真などを使って、とてもわかりやすく話していただき、あっという間の一時間でした。たくさんの心に残る言葉をいただきましたのでご紹介します。

「好きなこと、得意なことをやり続けました。その先にいろんな道が見えてきました。結局、たくさんの願いが叶いました。」

「人とのちがいを知ること、同じを探してみること、お互いを受け入れること、そして楽しむことが大切ではないかと思います。」



世界の文化の違いや「あたりまえ」の違いをパラグアイで学んだそうです。バスの時刻表がない国、大雨が降れば道が通れなくなる国、命の危険と隣り合わせの国…。日本の常識は世界の常識ではないということを実感するお話でした。

「世界には約80億人がいるので、80億通りのあたりまえがある」という言葉も印象的でした。

とても貴重なお話を楽しく聞かせていただき、どうもありがとうございました！

命を守る授業



6月28日、1年生の「ALSOK あんしん教室」が行われ、長崎総合警備株式会社（ALSOK）より5名の方々にお越しいただき、不審者から身を守るための方法についてご指導いただきました。実演も交えた、とてもわかりやすい説明で、1年生の子供たちも集中して聞いていました。

「いか・の・お・す・し」の意味もクイズ形式で考えさせてくださり、より理解が深まったようでした。見た目では不審者かどうかを判断しないこと、もっともらしい嘘にだまされて車に乗っていかないことなども教わりました。

「いざというときにどれだけ自分の身を守るか」ということについて、このような訓練を繰り返しながら学んでいくことが大切だと思いました。声掛け事案は15時～16時に多いそうです。下校時は危険が潜んでいるということです。交通事故防止も含めて、子供たちへの注意喚起をご家庭でもお願いします。

6月29日には授業参観・懇談会及び学校保健委員会が行われました。**のべ185名**の保護者の方々に来校いただきました。お忙しい中、また雨の中、どうもありがとうございました！

すべての学級で生命尊重に関する道徳の学習を行いました。いつも以上に真剣に取り組む子供たちの様子も見られ、よい学びとなったことでしょう。これを機に、自分、家族、友達、動物、植物など、すべての命を大切にしようとする気持ちを育てたいと思いますので、引き続きご理解、ご協力をよろしくお願いします。

暗唱検定「いのちのバトン」にもたくさんの子が挑戦しています！嬉しい限りです！